

農業技術 プリズム

水稲収穫後の圃場（ほじょう）を速やかに乾燥させることは、次作の農作業の作業効率を高めるために重要です。特に、水田のように下方向への排水が難しい圃場では、作土層の水分を減らし、土塊を細かくすることで、その後の作業がしやすくなります。しかし、ロータリーで粗耕起を行うと、降雨によって土壌の乾燥が遅れてしまう場合があります。そこでけん引型のスタブルカルチベータを用いた粗耕起の効果を検証しました。

ち、10³以下の細かい土塊の割合が高く碎土性が高まりました。10⁴当たりの作業時間は約9分で、ロータリーに比べて作業時間を約65%短縮で

スタブルカルチベータ使用効果

水稲収穫後の粗耕起 作業時間を65%短縮

きます。10月上旬から中旬にかけてスタブルカルチベータで粗耕起を1回行う場合、期間中の作業可能面積は83・7

スタブルカルチベータによる粗耕起



おこなわれます。

スタブルカルチベータは水田だけでなく、畑での粗耕起や残さのすき込みにも利用できます。また、使用する際はトラクター前部にウエートを装着して重量バランスを調整してください。

（長崎県農林技術開発センター 畑作営農研究部門 干拓営農研究室 専門研究員 宮寄朋浩）